

研修事業について（案）

○学芸員専門研修アドバンスト・コース

令和 5 年度は海藻、顕花植物、真菌類における標本採集・作製及び収蔵・管理の方法等の研修を、令和 5 年 11 月 6 日(月)～11 月 9 日(木)の 4 日間で実施し、6 館 6 名（加盟館より 5 館 5 名）が参加した。

令和 6 年度については、11 月上旬頃に海生無脊椎動物に関する研修の実施を予定している。

○オンライン学芸員専門研修

令和 5 年度は令和 6 年 2 月 5 日（月）、6 日（火）に国立科学博物地学研究部による化石のプリパレーションや標本収蔵等について研修を実施し、27 名 32 館（うち全科協加盟館園 33 名 28 館）が参加した。令和 6 年度については、令和 7 年 1～3 月頃に人類研究部による研修を予定している。

またほかにも、オンラインのメリットを生かせる研修テーマがあれば順次開催する予定である。

○海外科学系博物館視察研修

新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和 4 年度まで中止をしていたが、令和 5 年度は研修を再開した。

令和 6 年 1 月 14 日（日）～20 日（土）にマレーシア・クアラルンプールとシンガポールに滞在し、19 名 8 団体が参加した。

公式訪問として、ナショナル・サイエンス・センター・クアラルンプール、ペトロサイエンス、ザ・ディスカバリー・センター（クアラルンプール）、サイエンス・センター・シンガポール、シンガポール植物園（シンガポール）、自由訪問としてリーコンチェン自然史博物館（シンガポール）などを訪れた。

令和 6 年度は台湾での研修を予定している。

○海外先進施設調査

令和 5 年度は 2 名がそれぞれアメリカで施設調査を実施した。

令和 6 年度についても募集、実施を予定している。